

Comments and Discussions

Soemon TAKAKUWA (高桑 宗右エ門)*

関根栄一氏は、わが国屈指の官庁エコノミストといわれ、国際協力銀行勤務を経て、現在、榊野村資本市場研究所で副主任研究員として第一線で活躍されている。

本論文では、氏の幅広い見識と鋭い視点から、中国の年金制度について、経緯と現状を明快に整理・分析・検討が行われている。公的年金と新たな企業年金制度については、今後の企業年金の普及に関する課題が提示されている。さらに、日系企業にとっては、中国が最大の進出先でもあることから、現地人材の確保と活用が課題となっており、外資系企業による企業年金制度の導入は、現地経営にとっても引続き重要な課題である、と論を進めている。

氏の長年に亘る中国研究を通じた説得力のある論文であり、経済学研究科附属国際経済政策研究センターの DP としてふさわしい内容である。

* Professor, Graduate school of Economics, Nagoya University.
名古屋大学大学院経済学研究科教授